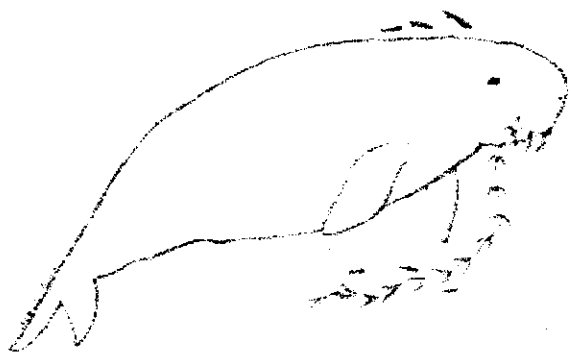


# 沖縄・慰霊の日を憶える

## 映画鑑賞会



### ♪ 鑑賞作品

(作品が変更になる場合もあります。ご了承ください)

1. 午後1時30分～2時30分

#### 『1フィート映像でつづる ドキュメント 沖縄戦』

(制作:子どもたちにフィルムを通して沖縄戦を伝える会/1995年/57分)

2. 午後3時～4時30分

#### 『カメジロー・沖縄の青春』

(製作:『カメジロー・沖縄の青春』製作委員会/1998年/84分)

♪ 日時: 6月13日(土)

午後1時30分～4時30分

♪ 会場: 名古屋YWCA

名古屋市中区新栄町2-3

地下鉄栄駅5番出口を東へお進みください

\* 駐車場はございません。

公共交通機関か、有料駐車場をご利用ください

♪ 入場無料

\* 席上カンパを募ります。

辺野古基金へのカンパと集会運営のために用いられます。

→ 辺野古基金は、パンフレット作成や、全国紙・アメリカの新聞での辺野古新基地建設反対を訴える意見広告の掲載費用等に用いられる予定です。

『沖縄に基地があるのではなく基地の中に沖縄がある』との言葉があります。在日米軍基地の74%が集中する沖縄と基地被害の現状を、この言葉は的確に表しています。

この沖縄になお、辺野古と高江で新基地建設が進められています。この現実には、1945年春に開始されたアメリカ軍の沖縄作戦が、70年を経た今日も継続していることを意味します。1945年当時の約60万人の県民における4人に1人が亡くなったと言われる沖縄戦。また強制連行された朝鮮半島出身の方々も多数、犠牲とされました。1945年の沖縄戦と今日につづく基地の問題は、過去の出来事や沖縄の問題ではありません。日米政府と日本社会の問題、そしてわたしたち自身の現在の問題なのです。

沖縄では、6月23日は慰霊の日と定められ、沖縄戦犠牲者を悼みつつ平和を求めて祈る日として、大切にされています。2015年の6月23日を迎えるにあたり、沖縄戦と沖縄の現状について知る映画鑑賞会を企画しました。平和への想いと働きを分かち合うときといたしましょう。

主催: 日本基督教団 愛知西地区 社会部委員会

問い合わせ先: TEL 052-841-0929 (東海教会・岡)